

現地の交通状況に応じて展開される安全運転普及活動を支援

海外における安全運転普及活動は、国内と同様に「人から人への手渡しの安全」「参加体験型の実践教育」を基本とし、海外事業所が主体となって展開しています。販売店でのお客様への安全アドバイス、交通教育センターでの運転者教育、学生や子どもを対象とした安全教育を中心に、政府や関係諸団体とも連携をとりながら各国の交通状況に即して活動を実施しています。



ベトナムでの企業向け二輪安全運転研修

国を越えた課題・情報の共有

安全運転責任者会議を開催

今年10月、海外の活動を推進する各国事業所の代表者による安全運転責任者会議を鈴鹿サーキットで開催。海外の9の国と地域から21名、日本からは各交通教育センターの代表者が出席しました。会議では各国各地での重点テーマや課題を共有するとともに、「研修運営における安全対策」をテーマに危険を安全に体験してもらうための進め方など、参加者全員がこれまでに蓄積したノウハウや経験をもとに知恵や意見を交換し合うディスカッションも実施しました。二輪・四輪の安全運転普及活動を行う担当者がグローバルで情報共有し、課題を議論することにより、2030年ビジョンに向けた安全運転普及活動の方向性などを確認しました。



安全運転責任者会議



アジア大洋州における二輪の安全運転普及活動の強化

Asian Honda Motorが主催する二輪事業所の安全運転部門のマネージャーを集めたミーティングが、昨年に続き今年7月にベトナムで開催され、アジア大洋州地域の11の国と地域から12事業所40名が出席しました。

日程は2日間にわたり、会議では各国の安全運転普及活動などが紹介され、参加者同士で具体的なノウハウの共有や意見交換を行いました。また、ハノイ市内の交通状況をはじめ、販売店主体の企業研修やお客様へのPDSA (Pre-Delivery Safety Advice: 納車前安全アドバイス)、交通教育センターでの研修等も視察しました。



ミーティングの様子



交通教育センターでの研修を視察

普及活動を担うインストラクターの養成

インド チーフインストラクター研修

Hondaのインド二輪現地法人であるHonda Motorcycle & Scooter India (以下、HMSI) は、今後、州政府と協力して交通教育センターを運営していくために、二輪および四輪のチーフインストラクターを養成しました。今年3月にHMSIから10名が鈴鹿サーキット交通教育センターを訪れ、11日間の研修を受講しました。座学、実技、ロールプレイなどを通して、現地法人内のインストラクター養成スケジュールやライディングスクール開催企画の立案、研修の模擬開催を実施しました。インド国内の事故削減に向けて、今後も安全運転活動の強化・定着に取り組んでいきます。



台湾 チーフインストラクター研修

台湾の現地法人台湾本田股份有限公司Honda Taiwan (以下HTW) は、二輪車を安全に楽しく乗っていただけるように二輪販売店と連携してお客様向けの安全運転講習を積極的に展開しています。また、大学・企業・子ども向けの安全運転普及活動にも取り組み、台湾の交通安全に貢献しています。HTW及び二輪販売店インストラクターの養成研修は2015年より日本の交通教育センターで開始され、これまでに研修を受けた22名のインストラクターが現在活躍しています。今年7月には、新たにHTWのチーフインストラクター2名、販売店のインストラクター3名の養成を行いました。今後、HTW及び販売店インストラクターが中心となってさらなる安全運転普及活動の推進を行っていきます。

中国 販売店インストラクターの養成

Hondaの中国現地法人である本田技研工業(中国)投資有限公司(以下HMCI)は、中国国内の事故削減をめざし、昨年社内にチーフインストラクターを養成しました。本年は、HMCIチーフインストラクターが販売店スタッフ向けに安全運転指導者養成研修を行いました。今年3月に9日間、上海郊外の会場において9店舗12名の受講生に指導を行い、全受講生が「安全指導員」の資格を取得しました。今後は販売店内にさらに上級資格を設け、HMCIと各店舗が連携して事故削減に取り組んでいきます。

